



かわい

川西高等特別支援学校
学校だより 第20号
令和3年10月8日

「自分の力を見つめ直し進路を考える」～オープンスクールの様子から～

教頭 遠藤 知子

今年度も7月と9月にオープンスクールが開催されました。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、中学3年生のみの参加でしたが、今年度は市内全域にご案内したところ、小学校の保護者の方を含め昨年度よりも多くの参加をいただきました。お子さんの将来を見据えて見学に来られる保護者の方が増えてきていること、とてもうれしく思います。

説明会では、学校紹介や進路についてのご説明させていただきました。卒業後の生徒の様子について説明をしていると

真剣にメモを取る保護者の方や各学校の先生方、真剣にパワーポイントを見る生徒の皆さんの姿がありました。説明の後、校舎内で職業技能の様子などを見学、体験してもらいました。



中学3年生は中学校卒業後「自分がどこで学ぶのか、将来どんな仕事に就きたいのか、そのためにどんなことを学ばなければいけないか」を考える中で、今の自分の力を見つめ直して卒業後の進路について考える初めての機会になると思います。

「高校の他にこのような学校があるんだな。こんな勉強をするんだな。」と実際に体験する中でイメージできたのではないのでしょうか。また、保護者の方にはご自分のお子さんの将来を考えた進路選択の参考になったことと思います。

さらに授業見学では当校の生徒が自分たちの学校の様子や取り組んでいる職業技能について後輩に知ってもらうため作業内容を説明しました。発表の練習を重ね、上級生として立派に説明をしたり実技の体験では丁寧に具体的にアドバイスをしたりしてくれました。参加した中学生の皆さんも、実際に高等部で活躍している先輩の生の言葉を聞いて自分の進路をどうすべきか具体的に考える良い機会になったのではないかと思います。

オープンスクールは、参加者にとっても当校の生徒にとっても「自分の力を見つめ直し進路を考える」良い機会になっています。



2 学年 宿泊学習 in 長岡

2 学年主任 岩井 晶子

2 学年は、7 月 15、16 日に 1 泊 2 日の日程で、長岡市へ宿泊学習に出かけました。始業式に 2 学年全員に「今年 1 年でできるようになるう」伝えたことは、「3 つめの SK=進んで行動すること」でした。日常から生徒の様子を見ていると、とても素直な生徒が多く、言われたことには取り組めるのですが、自分たちの力で考え、相談してやり遂げる行動力が課題だと考えたのです。そこで、宿泊学習では、事前学習から当日にいたるまで、班長を中心に相談し、協力して活動を進めることに重点をおいて学習を進めてきました。

事前学習では、1 日目の余暇活動は映画班とスポーツ体験班に、2 日目の職場見学では清掃班とカフェ班とに分かれて調べ学習や計画立てを行いました。特に、1 日目の活動については、買いたい物は何か、映画やスポーツは何をしたいのか、お互いの意見をすり合わせてスケジュールを組んでいかなければならず、時間はかかりましたが、仲間同士で話し合って決定していく貴重な経験になりました。

当日も、班活動の部分はできるだけ生徒同士が相談しながら決めていけるよう、必要以上の支援は行わないよう努めました。どうしたらいいか分からなくなった時になかなか相談できなかつたり、班長任せにしてしまつたりする場面もありましたが、「あの時どうすれば良かったのか」振り返り、考えることで少しずつ自分たちの課題が見えてきたようでした。それと同時に、「友達とまたゆっくり買い物をしたい」「みんなの笑顔がたくさん見られて良かった。」「ホテルの清掃の人の素早さにびっくりした」などの声が聞かれ、この 2 日間で、普段の学校生活だけでは経験できない充実した時間を過ごすことができたことが分かりました。今回の経験を今後の学校生活や 3 学年での修学旅行、そして卒業後の生活を豊かにしていくために生かして行ってほしいと思います。



職業技能検定（清掃部門）を実施しました

清掃・介護班主任 笠井敬祐

7月27日、当校を会場に魚沼地区の新潟県特別支援学校職業技能検定（清掃部門）が行われました。当校からは清掃介護班の生徒7名が参加しました。

職業技能検定（清掃部門）は、ビルクリーニングで使用する自在ぼうき、ダスタークロス、モップ、掃除機の4つの機材の中から1つを選び、指示された方法・手順で作業を行い、作業そのものの正確性や手順、安全性などの観点から10級～1級のグレード制で評価を行います。

今回、当校の生徒はダスタークロス、モップ、掃除機の3種目に参加し、全員が4級以上の成績を収めました。また、掃除機に参加した2名が最上位の1級と評価されました。

清掃・介護班では、職業技能検定などへの挑戦を通して清掃技能の向上を目指すと共に、仕事を発注してくださる相手（お客様）に喜んでいただける仕事ができるよう、学習を続けていきます。



全力で楽しんだスポーツフェスタ

体育主任 目黒 嘉一

今年も昨年同様体験会形式での“スポーツフェスタ”を開催しました。新型コロナウイルス感染予防の観点から、参加者は保護者のみに制限しての開催でした。

当初予定していた“50m走”は2年続きで、グラウンド・コンディション不良のため、残念ながら行うことができませんでした。校長がいつも「私、晴れ女なので」と言っていた通り、当日は快晴でした。その効力を前日までお願いできていれば…。それでも体育館で6種目のスポーツを生徒と保護者が一緒に体験し、真剣な顔、たくさんの笑顔を見ることができました。スローガンにある「エンジョイ・スポーツ」の言葉を文字通り実践していました。

その後、生徒会が中心となって“シュレッターダスト★リレー”を行いました。「自分の殻を破るんだ」を合い言葉に、精一杯パフォーマンスする姿に大きな拍手が送られました。“笑いあり”“笑いすぎて涙あり”大いに盛り上がりました。

後半のポッチャの試合では、保護者チームの容赦のない攻撃に、今年も保護者チーム（1年生）に優勝をさらわれました。残念。私の指導力不足？いや、実は密かにこの日のために、特訓をしてきたに違いない…。是非、来年こそはリベンジしてもらいたいと思います。

これからも生徒自身が自ら身体を動かす楽しさを実感できるような授業作りに取り組んで参ります。

今後も参加をよろしくお願ひします。

